



2012年5月号

りっぷ ろーかる いんふおーめーしょん ペーパー
L I P (Local Information Paper) とは……

ひらかたし じんはつ ふくし きょういく ぶんか かんきょう
枚方市民発の、福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの

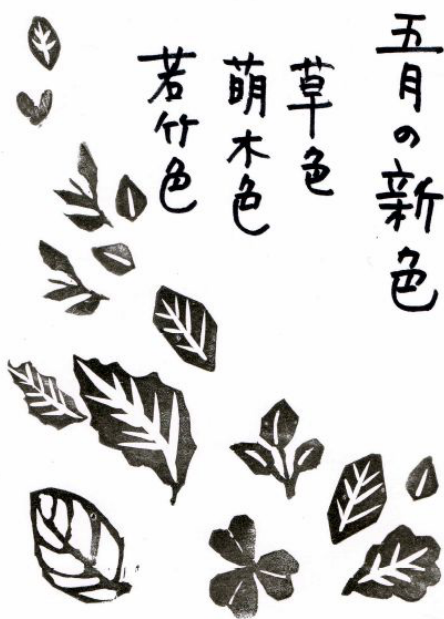
じょうほう けいさい ちいき みつちやくがたじょうほうし
情報を掲載する地域密着型情報紙をめざします。



自転車贈呈式



番号ワジでそれぞれの自転車が決まる



- ◆ [作家・鶴島緋沙子の『もぐらの目』25]
何て事もない風景と山田洋次監督の舞台「東京物語」♪
- ◆ LIPな人々13人目♪
- ◆ [枚方市在住・大島政廣さん] 震災ボランティア活動記♪
- ◆ イベント紹介 ◆ 編集局より/LIP配布場所/会計報告

「LIP編集局」 <http://www.love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net
TEL: 070-5653-6913 (18時以降) FAX: 020-4665-8668
郵便振替口座 00920-8-120259 (LIP編集局)

「もぐらの目」 二十五 何て事もない風景と山田洋次監督の舞台「東京物語」 鶴島緋沙子

賑やかに何だかだと甘えている子供の声がある。

パソコンの画面から目を見ると、二階の窓から道路を挟んだ向こうの家が目に入る。折からお出かけの様子だ。大きく建て直された家には、六十歳代のご夫婦と娘夫婦、小さな孫娘の三世大家族が住んでいる。若い三人が車に乗ると老人夫婦が手を振ってしばらく車の行方を見送っていたが、やがて妻は家に入り、夫は、庭を眺めている。何て事も無い風景。西の窓に目を転じると、京都に近い里山の一画を占める竹林。その前の広い駐車場には、人の姿がある。今日は水曜日。毎週そこで開かれる野菜や果物、植木や切り花のささやかな市。近くの農家から寄せられた品々は、スーパーよりは新鮮だろうと、三々五々、人が集まって来る。何て事もない風景。近くにある老人ホームからは、散歩の時間

鶴島緋沙子さんは、山田洋次監督の映画「学校Ⅲ」の原作となった「トミーの夕陽」や、「私の中の瀬戸内寂聴」(いずれも、つげ書房新社刊)などの作品で知られる枚方市在住の作家ですが、「自閉症」の息子さんの母親であり、「枚方自閉症児(者)親の会」の代表です。「もぐらの目」は、隔月連載の予定。これまでの連載をまとめた著書「もぐらの目」が、つげ書房新社から刊行されています。

URL : <http://zz.tc/tommy>

になったのか、いつものおばあさんが、真剣な顔付きで、手押し車に身を任せながらやって来る。その横をスピードを緩めながら遠慮がちに通る車。かと思うと、「ご不要になった電器製品を買い上げます。いつでも、お声をかけてください」と、妙に明るく丁寧なおじさんの声が、荷台の付いた軽自動車からマイクを通して聞こえて来る。そのあとから赤いボックスを後ろに積んだ郵便配達のバイクが横切る。これもまた、何て事もない風景。



東日本大震災から一年が経つ。テレビは連日のように、ただただ瓦礫だけが積み上げられた福島県の海岸べりの風景を写し出している。それを見る度に、何て事もない風景の大切さが身に沁みる。被害地の人々に何て事もない日常の風景が戻るのには、いつの日にか。東京日本橋にある三越劇場で山田洋次演出の新派劇団による「東京物語」が上演されると聞き、是非とも観たいと上京した。一昨年、私の住む大阪府枚方市の人権週間の催しに山田監督に来て頂き、映画「学校Ⅲ」上映のあと、「自分とは・生きがいとは」をテーマに、おこがましくも私と対談して戴いているし、昨年は、東京世田谷区民会館で世田谷区発達障害相談・療育センター主催の「自閉症と家族を語る」学校Ⅲをめぐって」と題して、ここでも又、私と対談して下さっている。そんな縁を大切に感謝している私。その上、

若い時から映画好きの私としては、山田監督が敬愛されていた、故小津安二郎監督の映画「東京物語」が舞台化される機会を見逃すわけにはいかない。

物語は、久しぶりに広島尾道から上京した老夫婦が、子どもたちの家を訪ねるが、それぞれの生活で精一杯のため歓迎されない。そんな中、戦死した息子の嫁だけが親身になってくれるという人間関係が、何て事もない風景の中で展開される。

朝、目覚めれば、いつでもその足元から始まる私たちの日常生活の営みが、平凡だからこそ幸せなのだという当たり前の事を、パンフレットに書かれた『山田洋次脚本・演出・東京物語』へ何気ない喜び、何気ない幸せの言葉が教えてくれる。

ふと気が付くと、通路を隔てた横の席で、ご自分の舞台を熱心に見つめられる監督の姿があった。終演後、何人かの出演者と監督が、舞台上で話し合われるというプレゼントもあって、楽しい公演だった。

尋ねた楽屋の入り口からひよいと顔を出された女優の波乃久里子さんが、弟にあたる歌舞伎役者勘三郎に似た素顔をほころばせていた。

平和な、何て事もない風景だった。



LIPな人々

13人め

LIPって毎月出てるみたいだけど、いったいどんな人たちが作ってるんだろう？ とときどき耳にするそんな疑問にお答えしちゃおう！ というコーナーです。

今月は、毎月LIPの配布をさせていただいている、小磯ふみさんです。

LIP配布担当、フリーランスのコピーライター&整理収納アドバイザーの小磯です。私とLIPとの出会い(?)は、ワタナベさんが世話役をされている子育て世代のメーリングリスト“ひらたま(ひらかた たまごパパ・ママ)”がきっかけでした。というのも……。

★はじめての枚方で★



大阪南部で生まれ育った私は、結婚を機に枚方市民となり子どもを授かりました。でも出産数週間前まで仕事を続け、実家近くの病院で出産したので、枚方には友達どころか知り合いすら

いません。枚方で子育て仲間がほしいなと思い、ネット検索で知った“ひらたま”を介してワタナベさんとお会いしました。サプリ村野でのしゃぼん玉イベントに赤ちゃんだった娘と参加したことも。その娘も4月から小学生なので、かれこれ6年前のことです。

娘が4か月で仕事に復帰し、その1年後になんとか保育所に入れてからはバタバタと忙しい日々でした。保育所では娘も私もたくさんの友達に出会えました。今思うと、枚方での最初の出会いで快く受け入れてもらえたことが、私の気持ちを前向きにしてくれたのです。

★持ちつ持たれつ★

ワタナベさんには娘の保育所の祭りでポン菓子の実演をお願いしたり、LIPに整理収納相談会のイベント告知をお願いしたりと、いつもお願いばかりでした。そんな中、「私にもお役に立てることがあれば……」と、LIPの配達をするようになって2年くらいでしょうか。

LIPのコンセプトでもある“持ちつ持たれつ”は私自身も共感するところ。子どもができ、保育所の先生や保護者の方やご近所の方などにお世話になり、人はひとりでは生きていけない

ことを改めて感じました。また保育所では保護者会や行事の実行委員などに関わり、協力し合うことの大切さややり遂げた時の爽快感も体験しました。どちらかの一方通行ではなく、互いに助け合うからこそ、心から感謝できるのではないのでしょうか。

★整理収納アドバイザーって？★

私の肩書の一つである整理収納アドバイザーは、「片づけ」という視点から、モノへの向き合い方や快適な生活を提案します。例えば、いつも何かを探しているという人は、探している時間を無駄にしているだけでなく、物が見つからないストレスでいっぱい！ 探し物をしなくて済むというだけで、毎日の快適度がグンと上がるのです。

実際どのような仕事をするかというところ、依頼者の自宅で実際に片づけ作業をしたり、講座や座談会・相談会を開催することもあります。子育て中のお母さんを対象とした座談会や相談会は、寝屋川市や松井山手でも不定期で行っていますが、今後は枚方市内でも開催できたらいいなと思っています。片づけが苦手、毎日探し物をしている、子育て中で散らかりがち……。そんな悩みを解消できれば嬉しいです♪

文/イラスト 小磯ふみ



イフマ↓ 落合正弥↓ 合田幸史↓ 松瀬功季↓ 鶴島緋沙子↓ ゆたなべ↓ 平井由恵↓ 西出喜美↓ 豊高明枝↓ 井村恵美↓ 野添かおり↓ 山本節子↓ 小磯ふみ↓

枚方市在住・大島政廣さんの震災ボランティア活動記を、機関紙「Speakers' Corner (子どもたちの健やかな成長と未来をめざす会)」202号より、許可を得て、転載させていただきました。

(L I P編集局)

昨年3月11日未曾有の被害をもたらした「東日本大震災」の発生直後の3月28日から4月3日まで丸7日間、被災地を支援するサイクルボランティア・ジャパン (CVJ)「足湯プロジェクト (PJ)」の一員として、また11/24から11/27にかけては福島県南相馬市の4つの仮設住宅での「たこ焼きPJ」に参加しましたが、今回も同じ「CVJ」のメンバーの一員として、12/22から12/25まで南相馬市で「自転車贈呈」と仮設住宅2か所での「天ぷらPJ」と、通算4回目となる東北での支援活動に参加しました。(あと1回は、8月に「たこ焼きPJ」実施に向けての下見と打ち合わせ)

※「自転車贈呈」活動について

南相馬市は、鹿島町、小高(こだか)町、原ノ町の3つの地域が合併してできた市ですが、この内、小高地区は今般の大震災による「福島第一原発」の事故により、原発20キロの範囲にすっぽりと入り、住民は強制的に退去せざるを得ない状態となっております。

そのため、学校も閉鎖・移転となり地元の小高(こだか)中学校は、震災後、鹿島中学校の校舎の一部を使い開校されていきました。しかし、あまりにも手狭で学習環境もよくないということから鹿島小学校のグラウンドに仮設2階プレハブの校舎が新たに建築されました。

この結果、鹿島中学校に近い「仮設住宅」で生活している生徒10数名にとっては、新たに仮設校舎が建設された鹿島小学校までの片道通学距離が4~5kmと徒歩での通学が困難となったため、当該中学校校長先生より「自転車提供依頼のSOS」が出されました。

そのことを耳にした「南相馬市小中学校PTA連合会長」であり、「たこ焼きPJ」の現地コーディネーターをしてくださった西道典さんからCVJの方に“自転車を16台贈呈していただけないかという依頼”が届きました。

「サイクルボランティア・ジャパン」という名称を掲げていることもあり、ぜひ何とかできればというろあだった結果、岡山県在住でこれまでの東北支援活動の中心メンバーとして活躍してくださった金本章さんが今回も積極的に動いてくださり、岡山県内の放置自転車を譲り受ける手配と整備、そしてそれらの自転車をCVJが被災地支援で行なっている「ノーパンク



〈「天ぷらPJ」メンバー5名〉

タイヤ」へ改修する作業、輸送用トラックの手配などすべての準備を整えてくださいました。

また、金木さんが仲人をされた岡山市PTA協議会顧問の原崎貞文さんへ働きかけをしてくださり、岡山市PTA協議会としてこの「自転車贈呈」を正式に東日本大震災の支援活動と位置づけてくださることになり、ガソリン代・高速代金の補助を得るなど至れり尽くせりの大活躍で、当日の贈呈式の場に臨むことができました。

◇ 12月22日(木) トラックで南相馬市へ。

金木さんと原崎さんは、贈呈するための16台の自転車をトラックに積み込み、午前9時に岡山を出発。大島は名神高速道路・京都深草バス停でこのトラックと12時半に合流し、3人で福島県をめざしました。

11月の「たこ焼きPJ」で東北に向かう時は、カーナビがありながら草津で新名神に入る際、そして伊勢湾岸道から東名に入る所と2度もミスをして、大幅な時間のロスをしただけに慎重にコースを確認しながら進みました。

トラックは3トン未満というものの前方にクレーン付きのもので、このような大きな車のハンドルを握ったことはなく、運転は金木・原崎さんの両名が大型免



〈自転車を積み、小高中学校に到着。右手後ろが中学校仮設校舎、左後ろは小学校校舎〉

許を持っておられることもあり、何もかもおまかせ状態で車上の人となりました。

冬でなければ北陸・磐越・東北道を経由していく方が時間的に早いのですが、トラックのタイヤはスタッドレスに交換してきたものの雪道の運転に不慣れもあり、名神・東名・東北道を利用するコースでひたすら北上しました。

高速道路をトラックに乗って走るという体験はこれまでなかったのですが、座席が高く見晴しもよくスピード感も乗用車ほどではなく、ゆったりとした気分で景色を楽しみながら休憩を適宜はさみ福島県を目指しました。

高速道路を長距離トラックでドライブをするという乗る前のイメージとして、距離が進めばエンジンがやられてマフラーから白い煙を吐き出すのではと想像もしていたのですが、さすが国産の自動車はよくできているというのか、全くそうした兆候はなく観光バス同様最後までスイスイと快適に走り続けてくれました。

東北への行程で、3月の「足湯PJ」の時もそうでしたが、一番問題となるのが、都内に入って合流・離反を繰り返す「首都高速道路」をスムーズに走り切って「東北道」に入れるかということでした。

運転に関われない大島にとってここで何とか力になると、都内に入る手前の東名高速サービスエリアの案内所で、地図をもらい、しっかりとレクチャーを受け、ナビの役割で少しですが貢献もしながら、21時過ぎ無事東北自動車道に入ることができました。

また、栃木県から福島県に入る「白河IC」からは、国の政策により東北地方の「高速道路通行料」無料化の恩恵を受けての走行となりました。

通行料のことで触れると、前ページに自転車を運んだトラックの写真を載せましたが、これだけの図体に

もかわらず料金は「普通車と同額」で、普段、車に乗って高速道路を走る経験がなく知識もなかっただけにこの料金体系には驚きでした。

◇ 12月23日(金)～24日(土) 南相馬市での活動。(自転車贈呈、天ぷらPJ)

福島県に入るまで、何度も休憩をとったもののすべて短時間のもので、深夜12時前に南相馬市に着くことができればコーディネーターの西さんが宮司をされている神社の社務所で仮眠(ドライバーの二人はトラック座席後ろの仮眠スペースで少しずつですが、仮眠をとりながら交互に運転を続けてくださいました)をさせていただくつもりでしたが、予定よりも到着が遅くなりそうなため、それはあきらめてトラックで一夜を過ごすことにしました。

目的地である南相馬市の手前20kmほどの所にコンビニがあったので、その駐車場にトラックを入れ、最後の運転は原崎さんが担当することになり、金木・大島の二人は仮眠用(?)のお酒も飲んだりして長時間の休憩をとり、時間調整をしました。

途中小雪ちらつくなか、西さんが宮司をされている神社に着いたのは午前7時前でした。西さんも本来ならば、朝6時からのお勤めがあるのですが、神社で新年の参拝客に渡す「お札」の準備で寝るのが遅く、本堂をまだ開けておられなかったこともあり、しばらくトラックで時間を過ごした後、西さんに来訪のご挨拶をし、9時から「小高中学校の仮設校舎」のある「鹿島小学校」での贈呈式に臨みました。

贈呈式の詳しい内容は下記「小高中学校ホームページ」でも見るができますので、ぜひお読みいただければと思います。

<http://jitensha.zz.tc/> (短縮アドレス)

< 自転車贈呈式 >

大阪では見るのができないくらい濃い青空の下、贈呈用自転車が1列に並べられ、その後ろに贈呈を受ける生徒または家族が整列し、地元の新聞社2社も取材に来られるなか、学校長のあいさつ、原崎さんが贈る側を代表してのあいさつ、記念撮影などと式が進み、最後に教頭先生がつくられた番号クジを生徒全員が引



〈自転車贈呈式〉



〈番号クジでそれぞれの自転車が決まる〉



〈津波で打ち上げられた船と廃墟となった家〉



女子(こうなご)と大根の葉などのかき揚げ」、通常30号ほどの大きさが天ぷらの材料となるのですが、8〜10号という超ビッグサイズの「エビの天ぷら」、それに「春菊」と「さつま芋」の4種類のアツアツの天ぷらを透明なプラスチックボックスに入れて

き、向かって左からつけられた番号と一致する自転車を各自が受け取るという形で贈呈がされました。

ちょうどこの「贈呈式」の最中、大阪では決して目にはできない渡りの途中であろう何十羽という白鳥が群れをなして空を駆け抜けていく姿を見たのですが、それはまさに関西から東北へこうしてつながる象徴のようにも思え、とても印象に残りました。

＜天ぷらPJ＞



〈天ぷらPJ準備〉

「自転車贈呈式」の後、2時間ほど海岸線など津波被害の跡をトラックで回りました。原ノ町地区の国道6号線は海岸から4kmほど内陸にもかかわらず、少しの区間に100隻近い船が田んぼなどに打ち上げられ未だに放置されているのを目にし、改めて「津波」の恐ろしさを感じました。

その後、同じ南相馬市にある「小池第2仮設住宅」に行く途中、市内のコンビニで昼食休憩をとったのですが、ここで宮城県在住の現地スタッフで、今回の「天ぷらPJ」の中心メンバーで天ぷらの材料などを満載した田川順一さんの車と合流し、「仮設」に向かいました。

寒さもあったのですが、アピールも兼ねて「集会所」前にテーブルを出し、天ぷらPJの準備。メニューは「小

食べていただくという企画です。また、天ぷらは一度に揚げることができないため、集会室で天ぷらが揚がるのを待っていただく間、「コーヒー」(ひらかたNPOセンターからも寄付していただきました)、「でっかい蜜がいっぱい入ったリンゴ」(鳥がちょっとつついたりして市場に出荷できないものを田川さんが調達してくださったのですが、味はかつて食べたことのないほどの美味でした)。2日間共、大島が味つけ・材料カットなどを担当した北海道花咲漁港でとれた紅ずわいガニの入った「カニ汁」を食べたり、飲んだりしながら、雑談のひとときをさせていただくというような形で、この「仮設地域」の全住人にあたる約30人前(来られてない方は届けていただく)を提供させていただきました。また、もう一人福島県庁の職員の二瓶宏孝さんもここで合流してくださり、5人のスタッフがフル回転でこの「天ぷらPJ」に取り組みました。原崎さんを除く4人は震災後4回目の出会いで気心が知れ、夜は雪深い「野地温泉」で1泊したのですが、夜の宴会も大いに盛り上がりしました。

2日目は、場所を「牛河内第3仮設」に移し、同様の活動を行ないましたが、2日間の活動を通して「仮設住宅では、なかなか油料理もできず、こちらに来て初めて天ぷらを食べた」「寒い12月にアツアツの天ぷらとカニ汁を食べ、気分がホックリした」など多くの喜びの声を聴くことができ、私たちにとってもホックリとした気分となれた今回の活動でした。

(おおしま まさひろ)



〈集会所で食べていただく〉



〈野地温泉にて〉

イベント・サークル・ボランティア情報

《ちいさいまいくえん みんなの里》

5月のオススメイベント

①「エコクラフトで、赤ちゃんおもちゃ〈鈴入りボール〉を作ろう」

5月22日(火)14時30分～16時…カラフルな可愛い赤ちゃんおもちゃが簡単に作れます。参加費500円(保育あり:別途500円)

②「幼児クラス☆もりもり☆カプラで遊ぼう」

5月30日(水)15時～16時30分…軽くて何でも作れる積み木〈カプラ〉で遊びませんか?おやつに〈みたらしだんご〉も作ります。参加費千円

(申し込み・問合せ)ちいさい保育園 みんなの里

枚方市楠葉並木2丁目28-4

TEL 072-845-6818

http://www.geocities.jp/minna_no_sato/

音楽でリフレッシュ!

～思いっきり声を出して歌ってみませんか!～

日時: 5月1日(火) 13:00～

場所 南部生涯学習市民センター 2階音楽室

日時: 5月19日(土) 14:00～

場所 サンプラザ生涯学習市民センター 5階視聴覚室

参加費: 500円(初回無料)

申し込み・問合せ先 音楽でリフレッシュ! 担当: 中嶋

TEL: 072-840-5493

「さをり織り体験」

誰でもできる素敵な手織り「さをり織り」を体験してみませんか? 糸代1グラム15円で、体験できます。

《問い合わせ》田辺(072)850-4992

【映画上映会&講演会】映画「シェーナウの想い」

～自然エネルギー社会を子どもたちに～

「原子力の無い未来のための親の会」を作り、市民所有のエコ電力会社をスタートさせたドイツ南西部のシェーナウ市。ドキュメンタリー映画を見て、講師の話聞き、共に考えましょう

日時: 5月13日(日) (開場9:30～)

上映会 10:00～11:00

講演会 11:10～11:50

※講演会後、意見交流の場を持ちます。参加される方は、お茶、軽食をご持参下さい。

講師: 朴勝俊(関西学院大学総合政策学部准教授)

会場: ひと・まち交流館 京都(河原町五条下る左側)

3階第4会議室

参加費: 一般300円 生活協同組合コープ自然派組合員500円(資料代等)

定員: 80人

託児: 定員6人(6ヶ月～1歳半未満 800円)

1歳半～未就学児 500円)

※託児の申し込みは、5月7日(月)17時まで

申し込み先: コープ自然派組合員サービスセンター

0120-408-300(月～金 9:00～18:00)

携帯・IPフォン⇒088-603-0080(同上)

「企画番号0612615」と言って申し込み下さい。

申し込み締め切り: 5月10日(木)17時まで

主催: 生活協同組合コープ自然派京都・脱原発アオギリ

みんなでつくる広場「ちょこっと」イベント情報

★ちょこっとが開いているのは水・土・日の12時～16時です。
5/5(土) 5/6(日) 5/19(土) 5/20(日)は連休・5月祭参加のため、休みです。

楠葉生涯学習市民センターの5月祭に参加します。

2階の第3集会室の展示・休憩コーナーでコーヒー等飲み物を100円で販売します。

材料費50円でおもちゃ作りもできます。

年齢を問わず、お気軽にお立ち寄りください。

★楠葉生涯学習市民センター5月祭

5月19日(土) 5月20日(日)

★脳トレ {200円} 6月2日(土) 10時から12時

★アコーディオンライブ {300円}

6月3日(日) 13時半～

場所: 楠葉野田区公民館

★ちょこっとバザー6月17日(日) 10時～15時

樟葉宮みつけ市

お問い合わせは072-856-9439(開所時)

080-3916-9147(山本)まで。

<http://www.justmystage.com/home/tyokotto/>

競争・強制ではなく、人権・共生の教育を!

「橋下・松井さんにひとことトーク 北河内のつどい」

■ 日時: 5月13日(日) 1時半～4時

■ 場所: 枚方サンプラザ生涯学習市民センター5F・第3集会室(資料代100円)

■ 報告①東京・アメリカの教育の実態は? 大阪の高校生は?

②「君が代」起立斉唱強制は必要か?(教育現場から)

■ リレー・トーク(市民・保護者・学生等どなたでも、言いたいこと何でも)。

※ 問合せ: 09059000783(つどい実行委員会)

♪ すべての子どもにボン菓子を ♪

★子どもたちにボン菓子体験をしてほしいと、有志で出資して「超小型ボン菓子機」を購入しました。

“なり”は小さいけれども音は一人前のカワイイやつです。

地域・学校などのイベントに!

超小型ボン菓子機で出張・製造/販売引き受けます。

問合せ: mikan-tnb123@pdx.ne.jp(田邊)

※6月16日(土)御殿山フェスタに出店予定♪

♪ LIP折り込み・配布ボランティア募集 ♪

★地域密着型情報紙LIPはすべてボランティアの手で作られています。みんなでワイワイ折り込み作業やお店などへの配布作業のボランティアをいつでも募集しています。

毎月最終土曜日夕方方に印刷・折り込み作業を行っています。

※問合せ: lip@love-dugong.net

LIPは、次の場所に置かせていただいています。

枚方市

- ★ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3F ウィル・ひらかたNPOセンター
- ★ 枚方市ボランティアセンター [ラポールひらかた内 072-841-0181]
- ★ 北河内ボランティアセンター [磯島茶屋町 20-1-101 072-848-4166]
- ★ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた [曙堤南町 2-50-1 072-850-4400]
- ★ コミュニティカフェ ラテール [西禁野 1-3-27 禁野バス停前 072-848-0418]
- ★ NPO法人 りりあん [長尾元町 6-39-15 lilian@kcat.zaq.ne.jp]
- ★ 婦人洋品店 シャルム [南楠葉 1丁目 2-16 ぐずは公民館向かい 072-850-1362]
- ★ 喫茶 Dik Dik [岡本町 8-17 072-846-5377]
- ★ たこやき・おこのみ けんちゃん [大峰南町 7-1 スーパーワカバ内 072-859-4155]
- ★ 街かどデパート 藤原愛逢 [藤原元町 2-27-1 072-855-6978]
- ★ 泉屋 楠葉店 [楠葉並木 2-2-2 072-868-3060]
- ★ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ [堤町 2-1-103 072-861-6360]
- ★ 京阪総合会計事務所 [西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301 072-805-5252]
- ★ ヘアサロン かずみ [長尾東町 3-1-4 072-859-1601 (予約優先)]
- ★ ソーイングの店 みなよし [香里ヶ丘 3-11-3-4 072-854-0756]
- ★ 喫茶&アンティークショップ Squirrel (スクワール) [宗谷 1-1-1 072-859-2475]
- ★ 枚方市地域包括支援センター 社協こもれび
- ★ [南楠葉 1-30-1 エクセレントビル 203 号室 072-856-9177]
- ★ 割烹 千鳥 [岡東町 12-13 ひらかたさんぽらぎ B1F 072-843-8114]
- ★ WAVE34 (ボウリング場) [田口 4-11-8 072-848-0450]
- ★ ヘアースタジオばべば [南楠葉 2丁目 4-3 072-850-9070]
- ★ 枚方市役所 (市民活動課・環境総務課・人権政策室) [大垣内町 2丁目 1-20 072-841-1221]
- ★ 枚方市役所 津田支所 [津田北町 2-25-1 072-858-1502]
- ★ (財)枚方市文化国際振興団 [岡東町 8-33 市民会館内 072-843-1122]
- ★ 枚方市総合福祉センター [津田東町 2-26-1 072-858-5835]
- ★ 食育ステーションまきの [枚野南町 2丁目 19-2 072-397-2111]
- ★ 社会福祉法人 心愛 心学塾作業所 [大峰元町 1丁目 21-5 072-859-9194]
- ★ (社)福やなぎの里 精神障害者通所授産施設 ばびるす [大字尊延寺 2200 072-859-0245]
- ★ 全済済大阪府本部 共済ショップ枚方 [大垣内町 2-10-4 宮村第三ビル 3F 072-804-5550]
- ★ 健康・福祉プラザ 助さん・たくさん [大峰元町 1-1-1 072-858-8565]
- ★ エステのお店 ジョセフィン・じま [枚野南町 1-23-5 枚野南町デパート 2F 072-851-8727]
- ★ NPO法人 パーソナルサポートひらかた [中宮山手 10-12-105 072-848-8825]
- ★ 自閉症療育センター Link [岡東町 24-10 アイエス枚方ビル 3階 072-841-2411]
- ★ 紅茶専門店 VIE [南楠葉 1-1-34 072-856-2355]
- ★ shot bar カボチャソース [枚野下島町 14-22 072-809-7676]
- ★ ポパイ商店 [山之上 2丁目 16-9 072-846-7232]
- ★ NPO法人 ハートネット [村野西町 1-27 072-805-4373]
- ★ クッキー工房 おれんじはうす [交北 3丁目 3-10 072-856-8378]
- ★ 陶器器器のお店 a new sprout [堤町 2-14 072-846-9550]
- ★ 雑貨/カフェ ルポ・デ・ミディ [堤町 10-12 072-843-1525]
- ★ マイウェイひらかた ワーク草笛 [藤原天神町 3-1 072-808-2031]
- ★ たかはま歯科医院 [津田駅前 2丁目 17-1-108 072-896-1180]
- ★ 渦潮バーカリー 楠葉店 [町楠葉 1-30-6 072-856-5420]
- ★ 枚方市野外活動センター [穂谷 4550 番地 072-858-0300]
- ★ 社会福祉法人くにみ会「清水園」 [津田 873-2 072-896-1600]
- ★ 輝きプラザ「きらら」 [車塚 1-1-1]
- ★ 三代目たくちゃん ビーコ [枚野南町 2丁目 7-30 080-3785-1728]
- ★ MIKIHOUSE キャラメル [枚野南町 2-9-15-105 072-857-6626]
- ★ 株式会社 丸天酒店 [枚野南町 2-5-23 0120-39-7003]
- ★ MogaJoga Dining 枚方宿 [堤町 2-15 072-846-3535]
- ★ bar moonshine [宇山町 4-8 072-866-5667]
- ★ ぶらっとホーム・すかばらひかし [藤原東町 3-1-11 072-859-5005]
- ★ とくふうホーム [大字尊延寺 4592-24 072-858-4058]
- ★ 音楽療法スペース ウッドヴィレッジ [枚野下島町 9-12 070-857-3540]
- ★ みんなでつくる広場「ちょこっと」 [楠葉野田 2-30-8 072-856-9439]
- ★ スパイレイ枚方南 [津田山手 1丁目 24-1 072-808-4126]
- ★ 本とカフェ Benedetta [町楠葉 1-6-25 寺山ビル 2F 080-6115-8133]
- ★ やすらぎの丘霊苑 [大字尊延寺 4588 番 4 072-896-1212]
- ★ 韓国茶が楽しめるカフェ「Cafe Cajjo」 [西禁野 2-8-3 072-848-8481]
- ★ 苺のいえ [中宮東之町 15-12 072-805-2660]

そのほか

- ★ 龍谷大学 深草学舎ボランティア・NPO活動センター [京都市伏見区塚本町 深草 67 075-645-2047]
- ★ 寝屋川市立市民活動センター
- ★ フレッシュバーカリー ラッキー [寝屋川市早子町 18-1 072-821-0413]
- ★ ヘアサロン おおまち [交野市私部 3-17-2 072-891-5024 (予約優先)]
- ★ NPO法人 ゆいゆ (結夢) [交野市私部 7丁目 12-58 072-810-7880]
- ★ えんであら作業所 [交野市天野ヶ原町 2丁目 14-20 072-893-4890]
- ★ 小規模通所授産所施設 ミルキウエイ [交野市天野ヶ原町 2丁目 14-20]
- ★ 交野市役所 市長公室 [交野市私部 1丁目 1-1]
- ★ きさいち植物園ファンクラブ事務局 [交野市私市 7-19-14 072-894-0840]
- ★ わくわく科学館 [交野市私市 6-10-2 080-3819-7292]
- ★ 大阪府衛生会附属診療所 [高槻市奈佐原 955 072-696-3351]
- ★ 宇治田原社会福祉事務所 [綴喜郡宇治田原町 荒木天皇 2 0774-88-2394]
- ★ むく福祉会 ワークホーム れっつ [綴喜郡宇治田原町 賀田船戸 38-1 0774-88-5846]
- ★ 福山つこやかセンター ボランティア活動センター [福山市三吉南 2-11-22 084-928-1346]
- ★ ベビーフェイスプラネット 松井山手 [八幡市欽明台北 ソフィアモール内 075-982-3271]
- ★ 「月桃の花」歌舞団 十三スタジオ [大阪市淀川区木川西 3-4-20 2F 06-6885-8475]

いつも応援ありがとうございます！

LIP 応援団

LIPを継続して発行していくために、LIP 応援団を作りました。一口2000円です。応援団員には以下の特典があります。

☆LIP裏表紙に応援団員のお名前掲載！(希望者のみ。匿名も可です)

☆LIPの郵送サービスします！

1口で1年間郵送します。

(希望者のみ。複数部数も歓迎です)

■郵便振替 00920-8-120259 (LIP 編集部)

■連絡先: lip@love-duaona.net

LIP 会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
48006	前号から繰り越し
500	縮刷版2012
5,700	イエローレシート寄付
1	利子
▼2,320	郵送代
▼4,640	4月号印刷代
47,247	計 (次号へ繰り越し)

■5月5日には日本の全原発が停止することになりましたね。子どもの日に全原発が停止するのは何か象徴的なものを感じます。未来は子どもたちのものですから。ちなみに関西電力の原発はすでに2月20日から全部停止していました。地震が起きても「原発は大丈夫か？」と心配しなくて済むのはとても精神的にラクになります。(w)

■LIPは市民が伝えたいことを書き、市民が印刷し、市民が配布する地域密着型情報紙です。いつでも原稿やボランティアを募集しています♪

ひら 「枚方市民にだけ」
か 読んでほしい情報サイト
う 枚方つーしん **検索**

表紙左下、P7イラスト：平井由恵